

宍道湖流入・流出水調査月報

(平成13年4月期)

水質概要

4月の水温は、表1に示すとおり平年値(上層14.3、中層14.0、下層13.9)に比べて若干高い変動であった。図1に示すように、4月の水温変動は10~18で変動しており、下旬に向かうにつれ徐々に水温上昇が見られた。また、水深による顕著な差異は見られなかった。

4月の塩分は、表1に示すとおり平年値(上層4.2psu、中層6.3psu、下層7.3psu)に比べて、上層、中層、下層ともに若干高い値を示していたが、ほぼ平年並の変動が見られた。また、4月においては15psu以上の高塩分水の流入は7日観測された。4月は、気圧低下と高塩分水の流入に顕著な関係は見られなかった(図2参照)。

4月の溶存酸素濃度は、表1に示すとおり上層・中層・下層ともに6.0~8.1mg/lと高い溶存酸素濃度の変動が見られたが、3月期と比較して低い変動であった。(平均値:上層6.7、中層:7.2、下層:7.9mg/l)。顕著な貧酸素水の流入は見られなかった。図1に示すように、15psu以上の高塩分水の流入時に溶存酸素濃度の低下が見られた。4月20日の25psu以上の高塩分水流入時には2mg/lまで急激な低下が見られた。なお、4月2日~17日は、機器メンテナンスのため欠測しております。

表1 4月期の水質概要

		水温	塩分	溶存酸素濃度
		()	(PSU)	(mg/l)
上旬	上層	欠測	欠測	欠測
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	欠測	欠測	欠測
中旬	上層	欠測	欠測	欠測
	中層	欠測	欠測	欠測
	下層	欠測	欠測	欠測
下旬	上層	16.1	7.2	6
	中層	16.2	9.2	7.2
	下層	16.1	8.9	8.1
月間平均 (4月)	上層	16.2	7.4	6.7
	中層	15.5	10.1	7.2
	下層	15.4	9.8	7.9

(水温・塩分平均値は、島根大学 宍道湖・中海水質月報、1994年4月より引用)

(表の中の数字は、平均値を示す)

水質

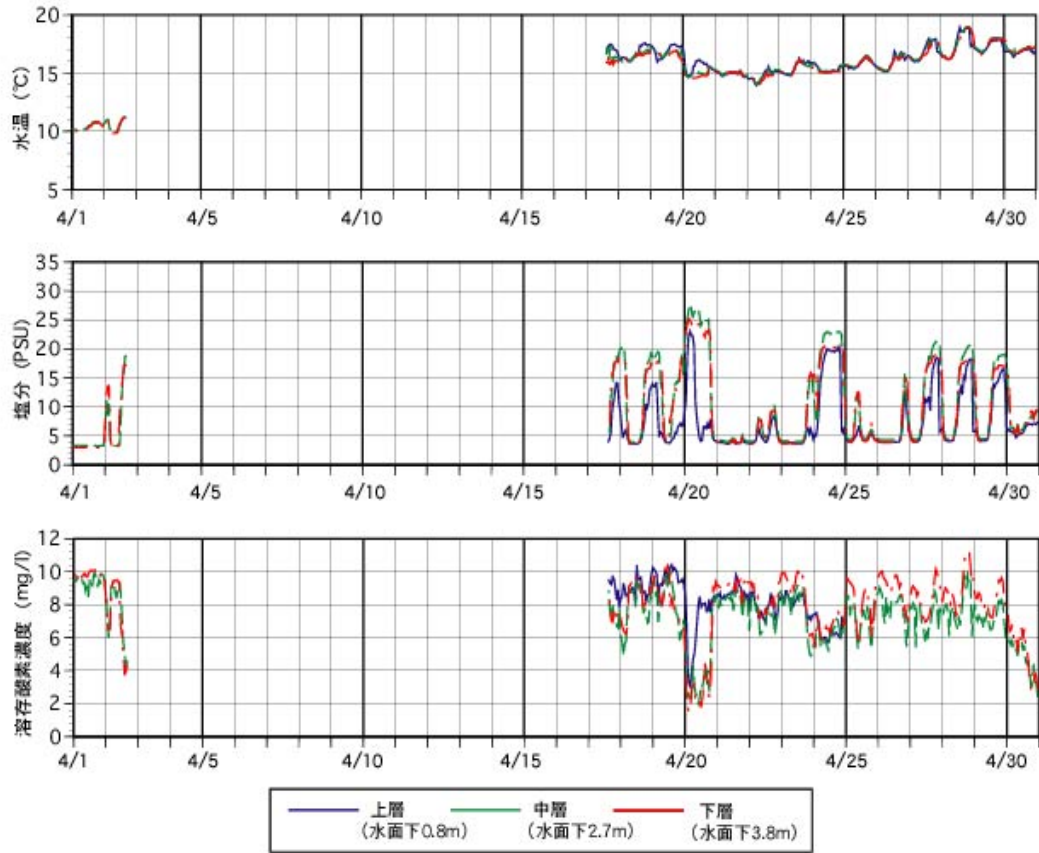


図1 水温・塩分・溶存酸素濃度の時系列変化

気象概況

4月は、表2に示すとおり、平均気温13.6（平年値12.5）であり、平年並より若干高い変動であった。図2に示すように、4月の顕著な気圧変動は、急激な低下が見られなかったのが特徴であり、全体として1000hPa以上の変動であった。平均気圧1011.3hPaは、平年値（平年値1018.2hPa）と比較して若干低かった。表2に示すとおり、4月の日射量は、0.1091MJ/m²であり、3月と比較して高い値を示していた（3月平均値:0.077MJ/m²）。4月の風向・風速は、平均風速3.3m/sec（平年値3.4m/sec,西風）であり、平年並であった。なお、4月2日～17日は、機器メンテナンスのため欠測しております。

表 2 4 月期の気象概要

	気温 ()	気圧 (hPa)	風速 (m/sec)	風向	日射量 (MJ/m ²)
上旬	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
中旬	欠測	欠測	欠測	欠測	欠測
下旬	13.8	1012	3.1	東南	0.1076
月間平均 (4月)	13.6	1011.3	3.3	南南東	0.1091

(平年値は、平成 12 年気象の暦 (山陰版) (財) 日本気象協会中国センターより引用)

(表中の数字は、平均値を示す)

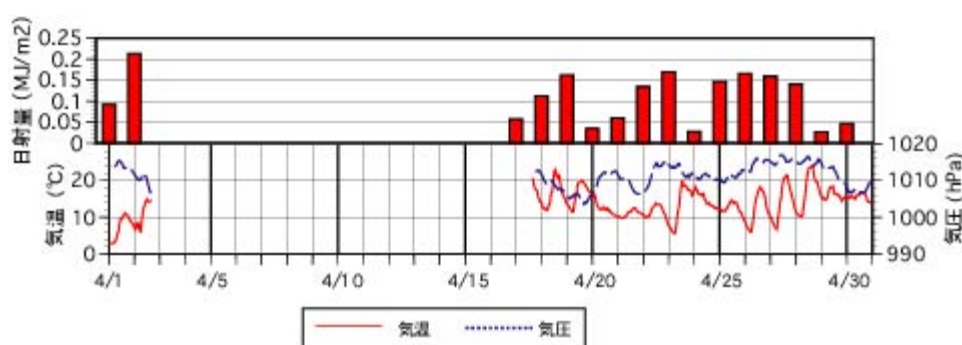


図 2 気温・気圧・日射量の時系列変化

流況

4 月の平均流速は、上層 7.4cm/sec、中層 8.0cm/sec、下層 7.1cm/sec であった。4 月の東方流速は、全体的に宍道湖から中海に向かう流れが卓越していた。

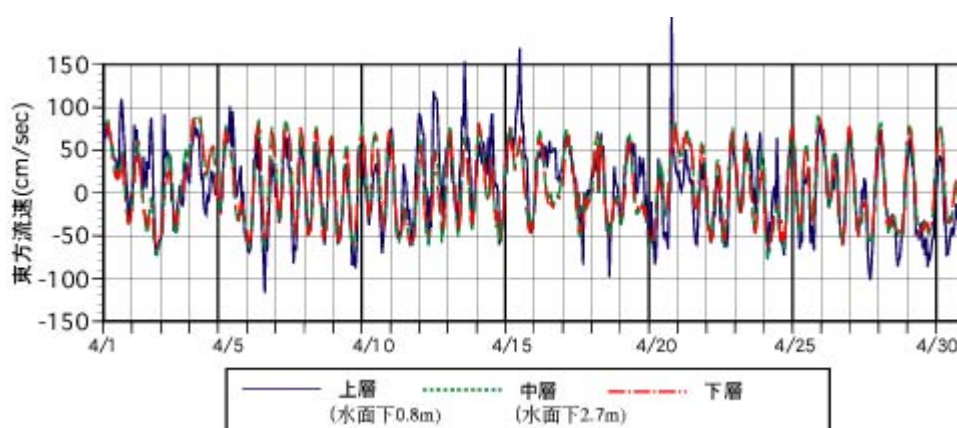


図 3 東方流速の時系列変化